

地域自治組織（町内会）への事務事業の移管

福井県鯖江市

人口：68,237 人

面積：84.75 km²

平成 17 年度事例集、1 項 No 8 掲載事例

取組の概要

平成 12 年度から、地域、生活に密着した事務事業を市内 10 地区および 157 の自治組織（町内会）の自主性に任せて行うものとし、その財源を交付金という形で年度当初に一括交付することとした。

区長会連合会に対して「区長会連合会交付金」を、各地区に対しては、「地区区長会運営費」、「敬老会費」など「地区交付金」を交付し、各町内会に対しては、「町内公民館費」、「防犯灯の設置・維持費」など「町内会交付金」を一括して交付する。

取組の紹介

1 その後の状況

現在も、「融和と協働のまちづくり事業交付金」として、「区長会連合会交付金」、「地区交付金」および「町内会交付金」を交付し、各地区、各町内における個性的で自主的なまちづくり事業への取組みを支援している。

区分	区長会連合会交付金	地区交付金	町内会交付金	計
平成 19 年度予算額	28,995 千円	25,615 千円	25,833 千円	80,443 千円

従来の 3 つの交付金のほかに、平成 18 年度から次の交付金を新たに交付することとし、地域住民自らが考え、自主的な地域の活性化、地域生活の快適性の向上に取り組む事業をさらに支援することとした。

補助金・交付金の名称	概要	平成 19 年度予算額
ふるさとふれあい交付金	地域の魅力をアピールする個性的なイベントやまちづくりを実践する人材の養成など、さらなる地域の活性化と発展を目的とした事業に対して交付する。	5,000 千円

2 前回からの取組効果

従来の使途を特定した補助金から使途を特定しない交付金としたことにより、各地区においては、スポーツ事業に力を入れる地区、文化事業に力を入れる地区、季節的な事業に力を入れる地区など、それぞれの地区の個性を発揮しながら、それぞれの歴史や文化を、自然など地域資源を活用したまちづくり、地域活性化事業が展開されている。

行政的な効果としては、各地区や各町内会において、「限られた財源をいかに有効活用するか、できるか」という意識が高まり、「何でも行政の補助に頼ればよい」という意識が無くなることにより、余分な補助金などの経費の削減につながっている。また、様々な事業の補助交付金の窓口をひとつにしたことにより、従来のような申請内容ごとに多数の部署が関係するという事務手続き上の煩雑さが解消された。

3 新たな課題・問題点

使途を特定しない交付金制度に移行し、事業の実施を各地区、各町内会の自主性に任せようになって8年が経過し、交付金制度の主旨はかなり浸透しているものと思われる。しかし、各町内会の区長が1～2年で交代するためか、本来なら交付金の中で取り組んでほしい事業について、補助金の創設を要望されるケースもあり、交付金制度の主旨と各地区、各町内会の意識との違いが一部残っている。

4 住民（職員）の反応・評価

市民に直接関わる事務ではないため、アンケート調査などを実施しておらず、市民の反応、評価は把握できていない。

5 今後取り組む自治体に向けた助言

いくつかの補助金をそのまま合算した形で新しい補助制度とするのではなく、統合による財政的な効果を生じさせるよう考える必要がある。

担当部署：総務部企画監